

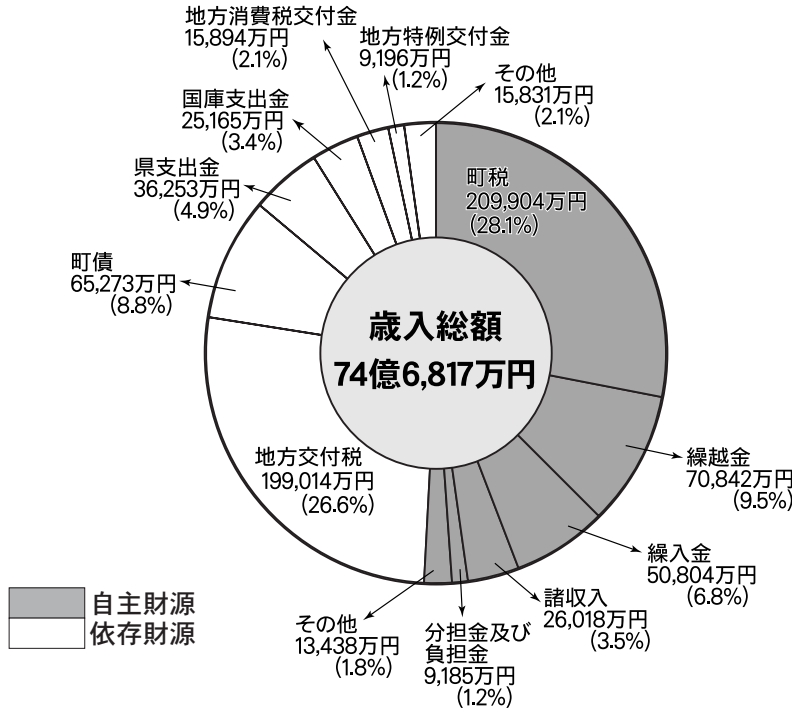
決算報告

一般会計

みなさんが納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をよりよくするためにさまざまな形で使われています。これらがどのくらい納められ、どのように使われているかを知っていただくために、決算と予算の執行状況をお知らせします。

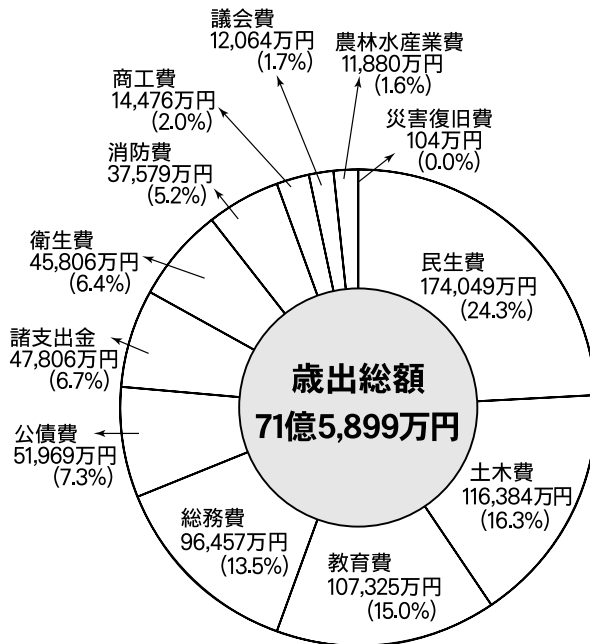
歳入総額 74億6,817万円

平成13年度より 841万円 (0.1%) 減



歳出総額 71億5,899万円

平成13年度より 3億9,083万円 (5.8%) 増



平成14年度（平成14年4月から平成15年3月）の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会にて認定されました。一般会計とは、特別会計を除いたすべての経費を表します。特別会計とは、特定の事業を行うため、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。熊野町では、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険特別会計、および地方公営企業法の適用を受ける公営企業特別会計である下水道事業会計がこれに当たります。

一般会計の決算は、歳入総額では74億6千817万円、歳出総額71億5千899万円となり、歳入歳出差引額は3億918万円でした。このうち、翌年度に繰り越して事業を行うための費用が3千619万円、実質的な歳入歳出の差額は、2億7千299万円となりました。

一般会計の科目別内訳とグラフは上記のとおりです。なお、特別会計の状況は、次頁の表のとおりです。